

地域だより

町内会のいきいき実践活動を紹介

防災活動を考える

富岸地区連合町内会では、防災活動の研修会を開催しました。津波などを想定した避難訓練を平成18年から実施している幌別鉄南地区連合町内会の方から、「訓練を繰り返すことにより、避難時に自然と体が動く」と説明を受けました。

長年の避難訓練の経験や知識を少しでも吸収しようとして、参加者は真剣に聞き入っていました。

富岸地区連合町内会

会長 佐藤 弘子



心も体もリフレッシュ

旭ヶ丘町内会は、家の中に閉じこもりがちになることを防ぐため、毎年、『室内レクリエーション会』を開催しています。ことは、約40人が参加し、卓球、輪投げ、宝引き、麻雀、将棋などを楽しみました。

数本のひもから5円玉のついたひもを引く『宝引き』では、当たりを引いた参加者の喜ぶ姿が見られました。

旭ヶ丘町内会

会長 北井 勝義



花の苗作りに挑戦

市連合町内会環境衛生部会は、種から苗を育てる『種植え講習会』を開催しました。

講師の指導の下、約50人の参加者が、マリーゴールドとサルビアの種を、腐葉土入りの容器に一粒ずつ丹念に植えました。

花苗に成長する6月中旬頃には、各家庭や各町内会の花壇に植え替えられ、真心を込めた花が町を彩ります。

市連合町内会環境衛生部会

部会長 中川 信市



非常灯にLEDを

中央新生町内会は、老人憩の家『静和園』に、発電機に直結されたLED照明を2基設置しました。

災害時には、発電機を動かして照明を確保することにより、一時待機場所としての機能を果たすことができます。

月1回の役員会は、災害時の訓練を兼ねて発電機を動かしてLEDのみで開催しています。

中央新生町内会

会長 今 平人

